

令和4年1月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員60人に、本会が新たに選んだ20人を加えた80人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

改善が続いていた景況感は、新型コロナウイルスオミクロン株の拡大等により急激に後退し、1月期の景況DI値は、2割近く一気に悪化した。

岩国市及び和木町に、県内で初めてまん延防止重点措置が適用されて以降、感染拡大により人の流れが止まり、卸・小売業やサービス業をはじめとして多くの業種において売上が大きく減少した。

また、製造業、建設業及び運輸業等においては、部品不足や原材料・原油高騰が収益を圧迫するとともに、続く外国人の入国制限や感染者等の業務離脱も加わり、深刻な人手不足となっている事業者が多く、事業運営に影響を及ぼしている。

まん延防止重点措置が2月も延長されたことにより、今後、さらに業績への影響が拡大することを危惧する声が多く寄せられている。

山口県の主要指標DI値（令和4年1月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況

（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、好転：2.5% 悪化：50.0% DI値：▲47.5% ポイント

売上高

（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、増加：12.5% 減少：41.3% DI値：▲28.8% ポイント

収益状況

（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI値〉）


前年同月比は、好転：3.8% 悪化：51.3% DI値：▲47.5% ポイント

山口県の業種別DI値(業界の景況)（令和4年1月末現在）

 30以上	 30未満～ 10以上	 10未満～ ▲10以上	 ▲10未満～ ▲30以上	 ▲30未満
---	--	---	--	--

食料品	織維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲87.5	▲50.0	▲33.3	▲100.0	▲33.3	▲22.2	0.0	▲46.9
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	その他	全非製造業
▲40.0	▲62.5	▲60.0	▲54.5	▲45.5	▲14.3	▲100.0	▲47.9
							

全体
▲47.5


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	原材料の値上げにより厳しい。	調味料製造業
	創業歴の長い菓子店（97年）が倒産。また、他老舗1軒も近々廃業予定。いずれも食品団地に工場を設け40年以上経過した工場を保有しており、長引くコロナの影響が組合員に出始めている。事業復活支援金も発表されたが、売上30%以上減少の場合が対象であり、ハードルが菓子店には高く、対象組合員は少ないと思われる。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	今回のコロナの為、学校は学級閉鎖、学年閉鎖、休校の措置が取られたため、売上が20%強の減少。また、これに対応するため、事務量が増えた。	パン・菓子製造業 下関市
	近海小魚の水揚げが極端に減っている。組合員の漁船も最盛期より4分の1位に減少しており、合わせて、漁師の後継者不足が大変心配される。水産加工業界の人手不足が深刻である。	水産食料品製造業 長門市
	コロナ禍の業況は、当組合員の業種によって変わらない組合員、季節的に厳しい組合員と分かれている模様。数字的な部分はないが、今年の冬はどの会社も前年とあまり変わらなかった様子だが、実習生が減った分大変な模様。今後の業況はコロナの状態とワクチンの普及率で変わってくると思う。前月と同様にどの会社も忙しい状況だが、新しいコロナ株が広がっていて入国が延長され厳しくなっている。入国は出来ないのに帰国は出来る模様で、実習期間が終わった実習生は帰国している。企業は大変なことになっている。	水産食料品製造業 下関市
	新型コロナウイルス感染者減少の兆しがみられたのも束の間。12月は好転の兆しも見られたが、オミクロン株まん延の報道により1月度の売上は前年同月より10%強の減少。現在も我が業界は原料不足・原料高騰が高止まらない上、在庫薄。今後は第6波の早期収束が鍵。	
	2022年1月は、コロナの感染拡大に伴い、ほぼ全国的にまん延防止措置がとられ、飲食店営業の自粛活動に伴う全国的な米あまり現象による米等の農産物価格の下落により、売上高も大幅な下落となり大きな影響を受けている。	精穀・製粉業
繊維工業	組合は、2月より新体制で業務を行う予定。	下着類製造業
	資材価格の値上げが次々と発生している。	外衣・シャツ製造業

木材・木製品	<p>木材業界全体で低迷感があり、地域の工務店は四苦八苦の状況と思われる。組合としての活動も皆無で、1月は稼働日数も少なく、仕事にならなかった。</p>	製材業・木製品製造業 岩国市
	<p>組合員の平均売上額は、コロナ前の令和2年1月に比べ10%の減少、コロナ禍の令和3年1月と比べ20%の増加だが、増加傾向の事業所と依然減少が続く事業所とが混在している状況。国産材スギ・ヒノキ材の価格は高値を維持している。柱材の仕入れについてはこれまで不足し調達難が続いていたが、段々と購入できるようになった。</p>	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	<p>山口県においては、新型コロナウイルスの第6波感染が急激に拡大したことから、岩国市、和木町においてまん延防止措置が発出されることとなった。ようやくコロナ渦より抜け出したかと思いきやこのような事態となり、地域経済活動にまた大きな影響を与えるのではないかと懸念されている。印刷業界も、昨年は中止が相次いだイベント、会議等が今年は、規制を設けながらも再開されることにより徐々に回復傾向にあったが、今回の事態により再び厳しい状況となることが予想され、より一層の効率化、合理化が求められることとなるだろう。</p>	印刷 下関市
窯業・土石製品	<p>建設業では、原材料の高騰（鉄筋・木材・原油高・運賃等）があり、販売価格に転嫁できていない状況が続いているため、調査機関にお伺いし情報交換および陳情を行っています。</p>	コンクリート製品 製造業
	<p>出荷量は、前月比102%、前年同月比90%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。</p>	生コンクリート製造業
	<p>新年となり、各事業所ともスローペースながら順調に仕事をこなしている模様。ニュースでは、オミクロンの感染による感染者・濃厚接触者の増加に伴い、他の業種では業務に障害が出ているようだ。自然災害等だけではなく、異業種間においてもいかなる状況にも対応できる新たなBCPの策定が必要ではなかろうか。</p>	石工品製造業
	<p>1月の売上は、小売りは昨年比で増減なし。百貨店やギフトなどの卸も昨年と変わらず。昨年1月は新型コロナウイルス感染症の影響で売上が急激に落ち始めた時期と重なる。特に8日から10日の三連休のあと、観光客が激減した。1月26日から2月6日まで東京ドームシティーで開催のテーブルウェアフェスティバルには、当組合から3社が参加。当初は開催も危ぶまれたが（昨年は中止）、スタッフ・関係者に感染者も出さずなんとか会期を終えることができた。来場者は例年の10分の1で、売り上げも半減した。</p>	陶磁器・同関連 製品製造業

一般機器	<p>新型コロナウイルスの影響で引き続きリモート面接を実施しているが、ベトナムも感染拡大でロックダウンしており、募集も困難、面接も延期になっている。外国人技能実習生も入国がいつになるかわからないためキャンセルが発生してきた。特定活動中の実習生がワクチン接種を2回終了したので帰国し始めた。外国人技能実習生の入国が無く帰国ばかりで縫製業は困っている。</p>	一般機械器具製造業 岩国市
	<p>例年通り、我々組合の業種は、緩やかな新年のスタートとなっている。毎年、1月は周南地域で大きな定修工事等も無く、仕事量が不足している会社は、県外へ出張し乗り切っている状況。特にコロナの影響はない。</p>	一般機械器具製造業 下松市
	<p>業界の景況について、悪化5社、不変3社、好転との回答は無かった。材料、消耗品、部品などの購入品の値上がりは続いている。さらに、在庫が無くなるなど入手困難な品目も出てきており、予定している今後の売上への影響を危惧している。このコストアップは、昨年秋以前に出している見積もりでは採算が取れない状況になっている。オミクロン株の感染拡大により顧客のマインドの低下が著しくなっている。まん延防止措置が延長され、県内全域が対象になる事で、更に業績への影響を危惧している。夏以降が不透明な状況にある。</p>	一般機械器具製造業 防府市
	<p>大半の企業では、外国人の入国が出来ないため派遣等で対応しているが、安定的に確保することが難しく、人手不足から残業が増加するとともに、事業の縮小を余儀なくされ事業に支障が出てきている。水際対策の強化の再度の延長により、外国人の入国が不透明になり、組合、企業とも困惑している。企業からは特定技能、特定活動の労働者の紹介を依頼されることが増えたが、募集しても集まらない一方、逆に高賃金の都市部の企業への転籍が増えてくるとともに、帰国するケースが増えてきている。そのため、各企業とも人員の確保に苦慮している。また、オミクロン株のまん延に伴い、実習生が感染し入院、隔離対応に苦慮した。今後とも感染対策には十分注意するよう指導している。</p> <p>原材料価格の高騰が顕著に現れ利益を圧迫している。受注も不安定で、納期を急がせる取引先もある。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
輸送機器	<p>鉄道車両関係の現状は、順調に推移。鉄道車両生産は国内業者の来年度以降の新車両計画は、減少見通しで、それに伴い受注高も減少が見込まれる。半導体は、例年の2～3倍の受注量で引き続き好調。2～3年後も順調に推移の見通し。コロナウイルス感染者が増加し、発症者及び濃厚接触者は業務離脱を余儀なくされ、一</p>	鉄道車両・同部品製造業

	部の事業運営に人材の関係で多少の影響あり。	
卸売業	「海苔」の入庫が遅れていたが、徐々に持ち直しつつあることや、「カキ」の入庫が活発化して来ていることから、先月よりは倉庫売上が増加。しかし、「肉類」の入荷が止まっていることや「いりこ」の減少などで、昨年と同時期と比べると、やや売上はマイナスである。	乾物卸売業
	年明けからのオミクロン株の拡大により業界の景況は、急速に悪化している。	生鮮・魚介卸売業
	組合内の駐車場は満車に近い状態となり、空き地も今年の12月まで借地希望がある。	各種商品卸売業 防府市
	年明けからコロナ感染が再び拡大し、まん延防止措置が適用され、外食産業向け商品の売上が減少。	各種商品卸売業 山口市
小売業	新年を迎え、出だしは初売りや福袋などで売上自体は好転していたが、成人式後コロナ、オミクロン株は急激に増えていき、売上は一気に下降の一途をたどっている。各ショッピングセンターも来館客数が減ってきていると言う。まん延防止措置が発令されると拍車がかかるのではないかと危惧している。第6波も収束に向かっていると思うので、早くコロナ前のような状況に戻ってほしいものだ。	化粧品小売業
	半導体、電子部品不足や原油価格の高騰等の影響により、多くの商品で本年より約10%程度の値上げがあり、顧客の新機材・新商材への購入意欲が著しく低下している。また、オミクロン株による新型コロナウイルス感染症の急拡大により、新春商談会や初売展示会が、中止や規模縮小を余儀なくされている。	農業用機械器具小売業
	売上は前年同月比で90%位。半導体他部品の不足等が影響し、商品の入荷状況が不安定。	機械器具小売業
	前年同月比では約106.6%で売上は微増している。前々年比では約67.4%の売上。1月9日より隣の岩国市にて新型コロナまん延防止措置が適用された影響か、夜間駐車台数(飲食店の来街者)が減少し、駐車場売上(現金)が先月の53.7%となった。貸しホールについては、他貸出しホール事業者が貸出し中止とした為か、会議室申込みに関する問合せが増えたが、売上は昨年より減少した。	各種商品小売業 周南市
	1月度は1/24時点、前年比3割アップと大幅に売上が伸びているが、前年のコロナ影響や雪による臨時休館があったため単純には比較できない。山口県でも感染者が増加した中旬以降は大幅に売上が減少しており、先々が心配な状況。組合員がご主人のご逝去による廃業に伴い脱会、空き店舗には市内業者が新規加入する予定で話を進めている。	各種商品小売業 萩市

	1月の前年比供給高103.6% 来店者数105.4%。年度累計は、供給高98.4% 来店者数96.0%。供給高は微増が続いている。来店者数も少し増えているが、曜日によっては少ない日がある。オミクロン株の感染者数は増えているが、食品スーパーへの影響はあまりないように感じる。	各種商品小売業 下関市
商店街	昨年末の電撃的な第六派オミクロン株で、市場は瞬時に凍結。岩国市は、恐ろしい早さでまん延防止措置で規制が発出され、街と経済はロックダウン状態になった。多くは書かないが、今回まん延防止措置の効果は非常に懐疑的でありきっちり総括されるべき。あまりにもマイナス要素が多すぎた上、地方都市の田舎町における今後の悪影響は計り知れない。商業経済を潰す選択をした自治体行政はこれから税収減の長いトンネルに苦しむことだろう。しかし岩国市だけを切り取ってみれば1月末で陽性者数はピークアウト。この調子での収束を祈るばかりも、2/20全国的まん延防止措置が明けた後を懸念。	岩国市
	コロナ感染者数が増加し、街の動きが停滞している。	宇部市
	1月に入り入学・卒業の関係で制服・時計貴金属の売上が伸び、10～15%位の売上が占めている模様である。この売上は商店街のプレミアム商品券が売上に功を奏している。新型コロナの影響もあり来客数が少し減っている模様。	萩市
	12月のイベントの商品券でのお買い物の期限が過ぎ、また、コロナ感染が当地区にも広がり、人通りが減少している。2月からのまん延防止措置の影響がどれくらい出るのかが不安である。	下関市
サービス業	年始から新型コロナの第6波で県内各地で感染者数が増加。髪は伸びるため基本的には客数に大きな変化はなかったが、ここに来て、濃厚接触者が増加し、濃厚接触者の濃厚接触者までカウントすると、地域差はあるが、キャンセルが増えてきている。そのため、5～10%の売上減少となりそう。	美容業
	オミクロン株により、まん延防止措置が適用され、自粛ムード。	理容業
	自動車に備える自動車検査証は、車検や名義変更などの際に、その都度新しく交付され古い検査証は国に返納することとなっているが、来年1月には自動車検査証の電子化が予定されており、いよいよ開始まで1年を切った。これまで車検は、運輸支局窓口に出向き申請して有効期間の更新を行っていたが、電子化後は、民間車検場（指定整備工場のみ）では、支局に足を運	自動車整備業

	ぶことなく自社で有効期間を更新し、全面ガラスに貼付する有効期間ステッカーも自社で印刷することが可能となるなど、整備業界も大きな転換点を迎えることになる。	
	オミクロン株の影響で休会が多く2月の売上に影響が大きい。	スポーツ・健康教授業
	1月も前年同月の売上を上回ることができた。しかし、まん延防止措置によって、人の動きも一気に冷え込むことが予測されるため、2月の売上は非常に厳しいものになる可能性が高い。1月に売上が低かった店舗はさらに大きな被害を受けると思う。	普通洗濯業
	1月下旬からのまん延防止措置の全県適用の影響で、お客の来店数も激減した。また2月より営業自粛要請に沿って、時短営業、休業をしている。今回で最後にして欲しいと切に願っている。	飲食業
	前年同月の1月と同じく、新型コロナウイルス感染が拡大した影響で、売上が減少。	旅行業
	前年同月比で、売上額 132.2%、宿泊人員 125.5%。前年の令和3年1月はコロナ禍で、年始から GoTo トラベルが中止となり、大きく落ち込んでいたため比較にならない。コロナウイルス感染症の影響のなかった一昨年の令和2年1月と比べると、売上額 63.4%、宿泊人員 62.2%であり、非常に厳しい状況である。	旅館業 山口市
	年末年始は、各種観光支援策のおかげで順調だったが、1/6 まん延防止措置が発表されるとの報道で、下関地区においてもキャンセルが続出し、予約は前年同月比 40%となった。1/24 の県全域への適用と期間の延長の報道でさらにキャンセルが増え続けている。	旅館業 下関市
建設業	中電への工事申請 48 件(当支部 38 件)、前年同月 106 件(同 96 件)。太陽光発電への申請 10 件(前年 12 件)、オール電化申請 22 件 (前年 31 件)。LED 街路灯への切り替え・新設申請 7 件(前年 31 件)であった。	電気工事業
	1年前から工事量が減少しているが、夏前から回復が見込まれる。30年前より技能者が約7割減少している。この中で減少を食い止める事業者が、生き残ると思われる。	左官業
	令和3年度入札はほぼ終わったが、令和2年度より少ない発注量であった。来年度から電子入札との通知があったため、組合員は準備に追われている。県内の新型コロナウイルス感染者は減少方向にないが、今のところ組合内で感染者は出ていない模様。業界の従業員の高齢化と人材不足、人手不足も相変わらずである。	管工事業
	年は改まれども、コロナ禍はこれからも予断を許さない。本業界では、年度内の発注もほぼ終わり、工期延	一般土木工事業 柳井市

	長の変更契約が、例年とほぼ変わらない状況である。	
	1月の受注高は、対前年同月比 443.5%。令和3年度の累計では、対前年比 96.1%。令和3年1月は少額工事が数件であったが、本年は少額ながら件数が増加したのでこのような結果になった。	一般土木工事業 萩市
	第3四半期（令和3年10月～12月）は公共工事が昨年度、一昨年度に比べて約3割減少している。軽油等の値上がりが収益に影響している。	一般土木工事業 長門市
	原油価格の高騰で瓦メーカーの値上げの動きが本格化しており、4月以降、仕入れ価格の値上げ通告が相次いでいる。ウッドショック後、新築物件の減少が続き、さらに加速しそうである。	屋根工事業
	現状はなんとか工場稼働率を維持しているが、春以降の仕事が少なくなる見込みのため厳しいと話す組合員が多い。鋼材・副資材の価格高騰と納期長期化が続き苦慮している。見積物件が僅かながら増えてきたが、地域格差が如実に表れている。	鉄骨・鉄筋工事業
運輸業	新型コロナウイルスのオミクロン株感染者の増加により取引先で出荷調整があり、国内向けは減少、輸出関係は横ばいとなり、対前年同月比で輸送量が50%減少している。輸送運賃は横ばいであるのに、燃料価格が上昇しており、アンバランスな月である。運転者の高齢化により輸送範囲も狭まり、稼働率が低下している。燃料費は3.30円の値上げ。軽油引取税はなんとかならないでしょうか。	一般貨物自動車運送業 下松市
	立ち直りの兆しもあった自動車関連ではあるが、オミクロン株の急速な感染に半導体不足なども重なり、サプライチェーンリスクに再び襲われようとしている。1月の組合の輸送取扱高は、前年同月比8割程度、燃料費も再び高騰の兆しを見せており、見通しは非常に暗い。	一般貨物自動車運送業 防府市
	軽油の値段が下がらず、収益にかなりの影響を及ぼしている。コロナの影響で、小物、雑貨関係の輸送・保管が減少しているが、製造関係の案件は増えているようである。人員については、中々充足しない状況が続いている。加えて、感染者・濃厚接触者が発生してきており、さらなる人員不足を招いている。	一般貨物自動車運送業 宇部市

	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比＋36.1%（令和3年12月1日～令和4年1月20日分）。12月1日～31日分は＋42.0%、1月1日～20日分は＋19.2%。前年12月分は大幅に落ち込んでいたので（その前年比▲55.5%）、前々年度比では、それぞれ ▲40.4%、▲36.8%、▲50.1% になった。当組合の取扱いタクシー事業者は、周南市，光市，下松市，防府市の地域。12月分については、周南＋35.3%，下松＋60.1%，光＋42.3%，防府市地区は＋33.5%で、組合員の全域では＋43.5%、地区外（員外）＋31.4%、合計＋42.0%（＋5,208千円）。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動します。CPが下降し（前月790\$/トンが今月730\$/トン、前年495\$/トン）、輸送用バンカーC重油も下降（前月683\$/トンが今月644\$/トン、前年425\$/トン）。為替は円高（前月115.14円/\$が114.88円/\$）。燃料単価は前月より▲4.3%下がったが、前年1月比＋23.5%であり、たいへん厳しい状況である。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足している。12月は、コロナ発生の減少と連動して、前年比では需要がかなり回復していたのですが、1月になってオミクロン株の感染激増で、深夜輸送が激減している。医療体制を最優先として、収束を目指してほしいと思います。</p>	<p>一般乗用旅客 自動車運送業</p>
	<p>1月の取扱高は、対前年比で若干の減少となった。今週、オミクロン株のコロナ感染者が近隣で発生したとの報告があったが、現在のところ、当組合への影響は特にないが、今後の状況については注意して行く必要があると思う。</p>	<p>港湾運送業 山陽小野田市</p>
<p>その他</p>	<p>新種のオミクロン株の感染拡大により、外国人技能実習生の入国がますます厳しさを増している状態。全国的な拡大により、政府の方針による入国規制に対しての組合員の理解はもらっているため、組合への問い合わせ等は減少している。現在、事業所に在籍の実習生も日常生活は成り立っており、実習業務にも精力的に取り組んではいるが、帰国に対する不安や本国に対する思いを強く感じられる。組合と事業所での連携はとれているので、協力して実習生のサポートを行っているのが現状です。</p>	<p>介護事業</p>